

競技注意事項

1. 規則

競技は2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会要項、申し合わせ事項に準ずる。

2. 練習

- ①練習は、競技場周辺及び競技場内走路で危険防止に十分注意して行う。
- ②フィールド競技の練習は、競技開始前にマーシャル及びフィールド競技役員の指示により競技場内で行う。
- ③競技場以外での投てき練習は禁止とし、スタンド等に砲丸の持ち込みはしない。
- ④バックストレートでの練習は競技に支障のない限り認める。
- ⑤両日とも競技開始15分前まで競技場内を練習に開放する。それ以降は競技場周辺、競技場内走路、バックストレート等を使用すること。

3. 招集（5月27日）

- ①招集所は競技場正門を入り、右側に設置。招集時間は競技順序時間で確認すること。招集は招集所で競技者本人がアスリートビブスの確認を受ける。代理人による招集は原則認めない。
- ②持ち込み投擲用具は、用器具検定申請用紙に記入し本部室へ持参、確認を受けること。
※競技用具は原則として競技場備え付けのものを使用する。但し、競技者は係の検査を受けて承認され、かつ全競技者が使用できる場合は自分の用具の使用ができる。検査は、競技場入口受付での受付後、係の指示で競技開始2時間前から1時間前までに検査を受けること。
- ③招集完了時刻は試技場所移動開始とし、試技場所(下記参照)での係からの確認の際、アスリートビブスを提示すること。

砲丸投	Bゾーン砲丸投げピット
円盤投	Aゾーン投擲ピット

- ④招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなします。招集所の確認がなく試技場所へ集合した場合、試技は認められない。
- ⑤競技場の入退場については、競技者係及びマーシャルの指示に従う。

招集（6月3日・4日）

- ①招集所は一次招集（雨天走路）、二次招集（各種目のスタート地点）で行う。
- ②招集に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。
- ③招集時刻はタイムテーブル参照のうえ、必ず競技者本人が招集を受けること。
- ④トラック種目の競技者は、一次招集所にて競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右臀部につけること。（リレー競技者は第4走者のみ）
- ⑤混成競技について
 - 1) 各日最初の種目の招集は一次招集及び二次招集を行う。
 - 2) 各日2種目以降の招集は、トラックはスタート地点（10分前）、フィールドはピット又はサークル（30分前）に直接集合のこと。
※100m、200m、400m、100mH、110mH、4×100mR、走高跳、走幅跳、砲丸投、円盤投の競技者は競技に使用するシューズがWAリスト承認(または靴底厚さ測定値が規定内)であることの確認を受ける。
※WAシューズリスト以外の場合、800m以上のトラック種目に関しては、靴底厚さが25mm以内であることの確認を行います。

4. 入退場

- ①競技場への入場については競技者係の指示に従う。
- ②フィールド競技は、競技終了後フィールド競技役員の指示で最寄りの階段から退場する。

5. 競技用靴

本競技場は全天候型である。（使用できるスパイクのピンの長さは9mm以下、ただし走高跳は12mm以下とする）

6. アスリートビブス

- ①アスリートビブスは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
(男子は白地に黒色数字、女子は白地に赤色数字)
- ②アスリートビブスは胸(腹ではない)と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。ただし、跳躍競技については1枚を胸又は背のどちらかにつけるだけでよい。

7. スタート時の不適切行為及び不正スタートについて

- ・不正スタートは1回目以降の者に対して、すべて失格とする。
- ・スタートの発声は英語で行う。
- ・日本陸上競技連盟競技規則162条5については、本競技会では適用しない。
- ・規則162条5の(a)(b)(c)の不適切行為は注意にとどめる。ただし繰り返し行った場合、イエローカードを提示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた場合、その競技者は出場競技を失格とするが、それ以降の種目を妨げないものとする。

8. 3000m競技のスタート方法について

本大会は、3000m競技においてグループスタートを採用する。その場合のスタート方法は、各組のレーン番号の2/3までが内側スタート、残りの1/3が外側スタートとなる。なお、その際スタート10m以内には内側・外側をわける縁石はおかない。

9. 800m競技オープンレーンについて

男女800m競技はブレイクラインの交差する直前の各レーンに黄色の角柱(もしくは代用縁石)を置くこととする。

10. 走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。(天候、その他諸事情によって変更する場合もある)

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降の高さは審判長の指示による
女子走高跳	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	
男子四種走高跳	1m30	1m34	1m37	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	以降3cmずつあげる
女子四種走高跳	1m05	1m09	1m12	1m15	1m18	1m21	1m24	1m27	

11. リレー競技について(リレーオーダー用紙は招集所に準備)

- ①リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を2部作成し、競技開始1時間前までに一次招集所へ提出すること。
- ②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。

12. 計時

競走競技はすべてのレースにおいて写真判定を採用する。

13. レーン及び走路順

- ①トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。
- ②セパレートレーンで行う競技で、全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけて第2レーンより使用する。

14. 用器具 すべて競技場備え付けのものを使用すること。

15. 抗議 抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出。(記録発表後15分以内)

16. その他

- ①各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。
- ②滑り止め(炭酸マグネシウム)は本競技会で準備しない。滑り止めを使う場合は、競技者が各自持参すること。なお、他の競技者と共有しないこと。
- ③ゴミについては必ず各自で持ち帰ること。競技場、駅などに絶対に捨てないこと。
- ④競技場内のスタンドにテントを張ることは禁止する。また、公園内の植え込み等にもテントを張ることは禁止する。応援はスタンドで行うこと。
- ⑤正面スタンド下は通行禁止とする。
- ⑥プログラム記載内容の訂正は、両日とも8：15までに総務員席へ届け出ること。ただし、主催者側の誤編成・誤表記による内容以外は受け付けない。
- ⑦競技中に発生した事故などの応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑧この大会は公認大会であるので、記録は県通信陸上大会・県総合体育大会陸上大会・県新人陸上大会の標準記録に適用される。